

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 716)	本邦における脳卒中急性期リハビリテーション診療の 現状調査
当院の研究 責任者(所属)	和田邦泰 脳神経内科
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	日本大学医学部附属板橋病院 リハビリテーション科 新見昌央
本研究の目的	脳卒中の患者さんが、急性期病院で入院してリハビリ テーションを受けることによって、合併症や日常生活動 作の能力にどのような影響があるかを調べます。
調査データ 該当期間	診療の過程で得られた情報、検査データ、画像データ を用います。項目は下記の通りです。 ○基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴 ○脳卒中診療の情報：脳卒中病型、脳卒中病巣の 側、病巣部位、病巣の大きさ、脳主幹動脈病変の有 無、脳卒中に対する治療内容、発症日、発症から来院 までの経過時間、入院日、退院日、入院日数、脳卒中 リスク因子(喫煙歴、飲酒歴)、発症前 modified Rankin Scale(mRS)、入院時血液検査(白血球数、ヘ モグロビン、血小板数、CRP、アルブミン、D ダイマー、 BNP あるいは NT-proBNP)、入院後 14 日以内のリハ ビリテーションの有無、開始リハビリテーションの施行 内容、リハビリテーションの施行時間、リハビリテーショ ンの開始時期(ベッド上訓練、離床訓練、歩行訓練、 ST による嚥下訓練)、歩行可能となった時期、合併症 発生状況(肺炎、尿路感染症、痙攣、起立性低血圧、 深部静脈血栓症、転倒、褥瘡、出血性梗塞、水頭症、 脳ヘルニア、病巣拡大、脳卒中、虚血性心疾患、神経

	症状増悪、その他重篤な合併症)、入院時 National Institutes of Health Stroke Scale(NIHSS)、入院時 JCS あるいは GCS、リハビリテーション開始時の Brunnstrom recovery stage(BRS、失語症の有無、半側空間無視の有無、嚥下障害の有無、認知機能障害の有無、その他の神経症状(失行、失認、視野障害)の有無 ○退院時の情報: BRS、NIHSS、mRS、Barthel Index、Functional Independence Measure、Functional Ambulation Categories、転帰 ○発症 90 日後の情報: mRS <研究期間> 2025 年 8 月 1 日～2028 年 3 月 31 日 <調査データ該当期間> 2025 年 8 月 1 日～2025 年 12 月 31 日
研究の方法	診療をした際の記録や検査結果をもとに統計学的解析を行います。
個人情報の取扱い	診療録から氏名、生年月日、住所等の個人を識別可能な情報を削除し新しく研究用の番号を付け、誰のものか分からないよう加工されたデータのみ提供します。個人識別情報と付加番号の対応表は当院責任者が厳重に管理します。データ解析の際には加工後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しません。
本研究の資金源 (利益相反)	利益相反はありません
お問い合わせ先	所属 脳神経内科 応答責任者名 和田 邦泰 電 話 096-365-1711
備 考	